

活動を広める「地域流・生活支援サポーター養成講座」が28日、久御山町役場で開かれた。住民や福祉関係者ら66

支援法などを学んだ写真。佛教大講師で地域福祉が専門の金田喜弘さん(31)が講演した後、京田辺



116カ国、送料無料

茶の東和

英語版HPでセール



成し、三月一日に開通す
る。幅が現在使われてい
る旧橋の四倍になり、歩
かせた。
かけ、安心して子どもが
渡れる橋に生まれ変わら
に着工、昨年七月に完成
したが、兩岸の道路整備
が残っていたため、三月
議を体験する授業が二十
小倉小であった。児童た
ちには、器用にバランスを
とりながら自転車を乗り
使用を見合わせている問
題で二十八日、使用の可
考を考

「京おぶぶ茶苑」の喜多さん(右)と松本さん(和東町原山)

ロボットの動作の不思議、八日、宇治市小倉町の北

要は、海外でも高いのでは(松本さん)と思いたち、英語版を作った。

宇治茶の主産地、和東町の若手茶農家グループ「京おぶぶ茶苑」が、「全世界、送料無料」と銘打って茶葉をネット販売する英語版ホームページ(HP)を二十八日、立ち上げた。「かさばらない」「軽い」という茶葉の特徴を生かして郵送にすることで、流通段階でかかる経費を料金に含めた。二月にはメンバー二人が米国の四都市を巡り、宣伝の催しを行う。口コミとネットを組み合わせて、和東の茶を世界に売り込む狙いだ。

おぶぶ茶苑は、二〇〇四年三月に三人で発足。京言葉で茶を表す「おぶぶ」から名付けた。町内各地の計一・五畝の茶畑を借り受け、代表を務める新規就農の喜多章浩さん(32)が栽培と製茶、会社員から転職した松本靖治さん(33)がネット販売などの営業、竹内加代さん(33)が発送など事務を担当している。

国内を対象にしたネット販売と別に、一昨年から米国のカフェ三店舗にも茶を卸している。その茶の評判が上々で、米国ではハーブ茶ブームもあることから、「新鮮な製品を手軽に取り寄せられるネット販売の需

若手農家グループ 来月訪米、銘柄PR

松本さんが二月七日から二十八日まで訪米し、喜多さんも一部同行する。コロンバス(オハイオ州)、ポルター(コロラド州)、サンディエゴ(カリフォルニア州)で、日本語学校や日系企業の工場に通う人の家、周辺のカフェなどで「日本茶パーティー」を開いたり、茶の説明を兼ねた試飲会を催す。シアトル(ワシントン州)では、世界的な喫茶店チェーンの本部にも売り込みをかける予定だ。

松本さんは「価格が一定で、早く届くから、日本国内と同じ茶を安心して飲んでもらうことができる。茶の文化も一緒に伝えたい」。喜多さんは「日本の宇治茶の主産地『和東』の銘柄を世界に売り込みたい。味の良さを知ってほしい」と意気込んで

いる。英語版は、京おぶぶ茶苑の日本語版HPから見ることができ

る。アドレスは<http://www.obubu.com/> (石崎立矢)

京田
市
葬
儀
建
市
民
同
会
同
市
田
辺
西
口
で
手
漕
を
求

